

100年企業へ社員大切に

西日本開発コンサルタント(高知市)

社長 土居 義典^{としのり}さん(47)



1970年創業。河川改修や学校建設などの公共工事で、周辺の建物への振動影響調査、立ち退き対象の建物の資産評価といった補償コンサルタントを手がける。

以前は県内の製造業の東京支社で働いていた。2020年、近しい友人の母親だった

先代社長に「後を継いでほしい」と頼まれ入社。23年に社長に就いた。「父が体調を崩したこともあり高知に帰りたかった。異業種だが、やるしかない、と」

役員を含め社員は10人。うち2人は民間資格の補償業務管理士で、自身も10月に筆記

試験を通過して取得が見えてきた。他の社員もそれぞれ建築士や測量士を目指している。そうで、「お互いに勉強の状況を共有し、励まし合っている。資格取得は品質の向上につながる。より頑張れるように、近いうちに資格奨励金を導入したい」と話す。

「社員にしっかりと資産を築いてほしい」と、24年度には少額投資非課税制度(NISA)での積み立てを後押しする手当も導入した。

「目標は100年続く企業。社員を倍に増やし、それぞれの生活を大切にする企業にしていきたい」
(安岡仁司)

つちのり

◆火曜日掲載